

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 安原地区まちづくり協議会

1 交付決定額	I	金 600,000 円
---------	---	-------------

2 本年度実績の報告

① 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 地区事業運営事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	まちづくり協議会主催事業の文化祭・ひろばまつり、サマーナイトフェスタIN安原などのイベントで使用するスタッフ用法被を購入したもの。			
地域づくりの成果・効果	スタッフがお揃いの法被を着て事業運営をすることにより、スタッフのモチベーションの向上と参加者へのPRを図ることができる。			
課題	スタッフへの貸与となるので、紛失や損傷により、追加の発注が必要となる可能性がある。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	50,000円	50,000円	円	円

- a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額
- b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額
- c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 橋倉家住宅等活用事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	まつもと重要文化遺産に認定されている橋倉家住宅等を有効活用するため、文化財の見回り及び案内板等の点検・管理を行うもの。 令和4年度は十王堂等に標柱を整備した。			
地域づくりの成果・効果	城下町の街並みを活かし、次世代へ継承する。			
課題	単年度ではなく継続した活動が必要			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	65,000円	65,000円	円	円

③ 事業名：生活環境部会活動事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	安原地区の生活環境維持のため、問題点の共有化と周知徹底をはかるもの。住宅周辺の積極的清掃作業、害虫等の注意喚起、一斉清掃の周知を行う。			
地域づくりの成果・効果	病虫害発生注意の喚起チラシ、環境美化月間における一日清掃の周知・実施し、住民が地区の環境保全に目を向ける意識の醸成につながった。安心して子育ての出来る生活環境の良好なまちづくりの一助となった。			
課題	安原地区の問題点の洗い出しによる独自策がない。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	18,396円	18,396円	円	円

④ 事業名：地区事業広報事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	安原地区まちづくり協議会の広報活動として「あさばの新聞」を発行し、まちづくりや福祉を主体とした地区内の行事や住民の思い等を発信するもの。令和4年度は2回発行。地区内全戸配布。			
地域づくりの成果・効果	活動を広く周知し、地域住民が地区の取り組み等を知る機会となった。			
課題	主として地区の行事に関する記事のため、毎年同じような内容になっている。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	40,260円	40,260円	円	円

⑤ 事業名：ボランティア育成事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	福祉及び文化等各種ボランティアを育成し、その活動を支援するもの。			
地域づくりの成果・効果	訪問によりゴミ袋を配布し高齢者の見守りを行った。ボランティアによるコーヒー講座で使用するコーヒー豆焙煎器を購入した。			
課題	活動が長く続くよう人材育成が必要			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	28,400円	28,400円	円	円

⑥ 事業名：空き家活用事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	学生等若者の地域活動に必要な地区内の空き家調査・開設の物品調達・活動支援等、若者の活動を地域活性化につなげるもの。			
地域づくりの成果・効果	若者と地域住民が協力することにより、お互いの理解が深まり、若者の地域づくりの意識向上及び地区活動参加を促す。			
課題	「ロッキキ」以外の団体が育たない。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	6,450円	6,450円	円	円

⑦ 事業名：健康づくり事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	月1回の市内ウォーキングまたは、運動教室、年2回のウォーキング大会と昼食会を実施し、住民の健康づくりを推進し、交流を深める。			
地域づくりの成果・効果	住民の健康増進と交流が図れた。 令和4年度は5月に糸魚川、10月にヘブンスそのはらでウォーキング大会を行った。			
課題	参加者が固定化している。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	23,730円	23,730円	円	円

⑧ 事業名：あさばのウォークラリー				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	11月20日(日)			
実施場所	安原地区			
事業概要	クイズに挑戦しながら安原地区周辺の史跡を巡るもの。 ラリー終了後カレーライスの提供。空くじなしの賞品あり。			
地域づくりの成果・効果	ウォーキングを通じて地区住民相互の親睦を深め、健康増進を図れた。 昨年は地区内の史跡を巡ったため、令和4年度は城北地区を中心にチェックポイントを設定した。			
課題	新たなチェックポイントの発掘や参加者の新規開拓			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	98,726円	61,846円	36,877円	3円

⑨ 事業名：安原地区文化祭・ひろばまつり	
実施主体	安原地区まちづくり協議会
実施日(期間)	10月15日～16日

実施場所	安原地区			
事業概要	コロナ禍のため実施はできたが、縮小開催(展示のみ)となったため、来年度以降も使用できる法被を製作した。 また、15日のみお茶カフェを実施し、コーヒーとお菓子の提供をした。			
地域づくりの成果・効果	スタッフがお揃いの法被を着て事業運営をすることにより、スタッフのモチベーションの向上と参加者へのPRを図ることができる。 お茶カフェは、来場者の休憩場所となるとともに、交流の場所になった。			
課題	来年度は、スタッフはこの法被を身に着け発表や飲食物の販売など通常の文化祭・ひろばまつりを盛り上げていきたい。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	110,130円	110,130円	円	円

⑩ 事業名：助け合いを育む除雪事業				
実施主体	安原地区まちづくり協議会			
実施日(期間)	通年			
実施場所	安原地区			
事業概要	除雪機の燃料費及び賠償責任保険への加入等、維持管理 地区公民館敷地内の除雪及び地区内町会への除雪機貸出 三井住友海上 賠償責任保険 支払限度額1億円			
地域づくりの成果・効果	地域拠点である地区公民館の周囲の速やかな除雪による通行及び公民館利用に備えることができた。			
課題	雪を押し進むローダー式のため、大雪時には対応できない。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	5,000円	5,000円	円	円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		a	b	C
	446,092円	409,212円	36,877円	3円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名： 災害対策資金積立事業												
積立目的	地域防災力の向上のため地震、火災、水災、風災等の災害発生時に備えて地域避難所の開設・運営に必要となる高額備品等を購入・保管する費用を積み立てるもの											
積立期間	2年度から 6年度まで（本年度 3年目）											
積立ての目標金額	900,000円											
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計								
	前年度までの積立経過	1年目	180,000円	円	180,000円							
		2年目	180,000円	円	360,000円							
		3年目	円	円	円							
		4年目	円	円	円							
		5年目	円	円	円							
	本年度の積立実績	D 180,000円	E 円	F 360,000円								
合計額	540,000円											
本年度積立金を充当して実施した事業の概要												
実施主体												
実施日(期間)												
実施場所												
事業概要												
地域づくりの成果・効果												
決算額	E+G	財源内訳										
		E	G									
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">E+G</td> <td colspan="2">財源内訳</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>G</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					E+G		財源内訳		E	G		
E+G		財源内訳										
E	G											
充当後の積立事業取扱方針												
(積立継続)R6年度まで・ 廃止												
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法												

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金 10,788円
-------	-----------

[参考]繰越上限額=I×2/10